

みずほCustomer Desk Report 2019/09/02号(As of 2019/08/30)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	106.47 AUD/USD
TKY 9:00AM	106.45	1.1059	117.75	1.2185	0.6736
SYD-NY High	106.54	1.1060	117.81	1.2229	0.6740
SYD-NY Low	106.11	1.0963	116.63	1.2140	0.6706
NY 5:00 PM	106.26	1.0991	116.84	1.2166	0.6737
NY DOW	26,403.28	41.03	日本2年債	-0.3100	0.00bp
NASDAQ	7,962.88	▲ 10.51	日本10年債	-0.2800	1.00bp
S&P	2,926.46	1.88	米国2年債	1.5080	▲ 1.60bp
日経平均	20,704.37	243.44	米国5年債	1.3898	▲ 0.57bp
TOPIX	1,511.86	21.69	米国10年債	1.4986	0.41bp
シカゴ日経先物	20,665	▲ 40	独10年債	-0.7040	▲ 0.70bp
ロンドンFT	7,207.18	22.86	英10年債	0.4760	4.20bp
DAX	11,939.28	100.40	豪10年債	0.8890	1.75bp
ハンセン指数	25,724.73	21.23	USDJPY 1M Vol	8.03	0.15%
上海総合	2,886.24	▲ 4.68	USDJPY 3M Vol	7.87	0.06%
NY金	1,529.40	▲ 7.50	USDJPY 6M Vol	7.63	0.03%
WTI	55.10	▲ 1.61	USDJPY 1M 25RR	-1.75	Yen Call Over
CRB指数	170.36	▲ 1.72	EURJPY 3M Vol	8.51	0.23%
ドルインデックス	98.92	0.41	EURJPY 6M Vol	8.23	0.19%

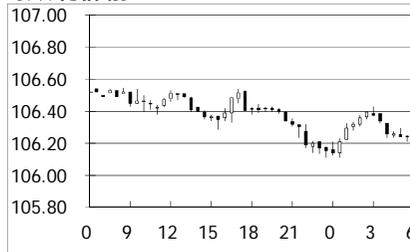
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
8月30日	15:00	独 小売売上高(前月比)	7月 -2.2%	-1.3%	
	18:00	欧 失業率	7月 7.5%	7.5%	
	18:00	欧 コアCPI	8月 0.9%	1.0%	
	18:00	欧 CPI予想(前年比)	8月 1.0%	1.0%	
	21:30	米 個人所得	7月 0.1%	0.3%	
	21:30	米 個人支出	7月 0.6%	0.5%	
	21:30	米 PCEコアデフレ(前月比/前年比)	7月 0.2%/1.6%	0.2%/1.6%	
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	8月 89.8	92.4	
	8月31日	10:00	中 製造業PMI	8月 49.5	49.6

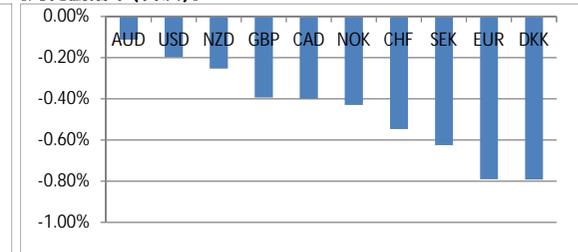
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月2日	10:00	中 財新・製造業PMI	8月 49.8	49.9
	17:00	独 マークイット・製造業PMI確報	8月 43.6	43.6
	18:00	欧 マークイット・製造業PMI確報	8月 47.0	47.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.50-106.50	1.0900-1.1100	116.00-117.20

【マーケットインプレッション】

先週末のドル円は小幅に下落。米8月ミシガン大学消費者信頼感指数確報値は89.9と市場予想を下回る結果となり、ドル売りが先行、一時106.11円まで下落した。米長期金利が上昇幅を縮めたことに加え、米中通商問題の懸念もありドル売りがやや優勢となった。  
 本日のドル円は上値の重い展開を予想。9月1日トランプ米政権は、中国製品に対する制裁関税「第4弾」発動し、中国も同日即座に750億ドル規模の米国製品に5%か10%の追加関税を課す報復措置を実行した。米国が本日Labor Dayで祝日となる中、米中通商問題への懸念が重しとなり、ドル円は上値が重い展開になるものと思われる。

東京	東京時間のドル円は106.45レベルでオープン。仲値にかけて一旦売りが強まり、106.30付近まで下落したものの、午前中は米中貿易協議進展への期待等から106.50台まで切り返した。しかし、午後に入ると週末の控えた手じまい売りを巻き込みながら106.29まで下落し、106.35レベルでロンドンへ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は106.35レベルでオープン。週末にかけて、強力なハゲン「ドリアン」がフロリダ半島を襲来することや、米中協議のハズレもあることからドル買いの動きは限定的となり、106.32レベルでNYに渡った。ポンドは1.2179レベルでオープン。スウェーデン裁判所が英首相の議会休会の動きを暫定的に阻止する要求を却下したが反応は限定的。9月6日に同裁判所が英議会休会に関する口頭尋問を行う予定が報じられたことで、議会休会措置を一時的に阻止する望みがつなげられた様子。1.2185レベルでNYに渡った。(ロンドン・フリ- 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	ドル円は106.32レベルでNYオープン。朝方は米7月PCEコアデフレが予想と一致する一方、個人支出が予想を上回り、ドル円は一旦買われるものの、個人所得が予想を下回ったことが嫌気されドル売りが強まり、続いて発表の8月ミシガン大学消費者信頼感指数確報値が89.8と速報値92.1から下方修正されたこともあり、106.11まで下落する。しかしロンドンフィックスを通過するとその後はドル買いが優勢となり、午後に入ると106.43まで戻す。終盤に掛けては週末を控えた調整の動きが中心となり、106.26レベルでクローズした。一方、海外市場で1.1033~60での狭いレンジでの推移が続いたユーロドルは、1.1037レベルでNYオープン。朝方は1.1040付近での推移が暫く続くが、ロンドンフィックスを通過すると来週のECB理事会に向けてユーロ売りが持ち込まれ、サポートと見られていた1.10を下抜けすると、2017年の5月以来に1.10を割り込み、1.0985まで急落する。午後に入ると更に売りが強まり、一時1.0963まで下落する。終盤に掛けては連休を控え、調整からやや値を戻し、1.0991レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・森谷